

**令和5年度  
第3回新居浜市地域包括支援センター運営協議会  
次第**

＜日 時＞ 令和6年2月14日（水）  
14：00～15：30

＜場 所＞ 新居浜市役所5階 大会議室

**【議題】**

- 1 地域支援事業等の進捗について
- 2 令和6年度予算について
- 3 新居浜市健康づくり推進本部 フレイルグループの取組について
- 4 その他

**【資料】**

- 1 委員名簿
- 2 地域支援事業他 各事業の進捗について
- 3 令和6年度新居浜市地域包括支援センター事業予算書（案）
- 4 新居浜市健康づくり推進本部 フレイルグループの取組について

## 新居浜市地域包括支援センター運営協議会

### 委員名簿（五十音順）

	団体名	氏名
1	愛媛県看護協会	石橋 保枝
2	新居浜市保健センター	井手 洋子
3	新居浜市介護支援専門員連絡協議会	岸 治代
4	新居浜市国民健康保険運営協議会	鴻池 多喜子
5	新居浜市訪問介護事業所職員連絡会	佐々木 玲子
6	新居浜市歯科医師会	白石 亨
7	新居浜市社会福祉協議会	白石 亘
8	新居浜市民生児童委員協議会	曾我部 美由紀
9	新居浜市老人クラブ連合会	高橋 功
10	新居浜市医師会	知元 正行
11	新居浜市連合自治会	久石 保
12	学識経験者（愛媛県立医療技術大学）	宮内 清子
13	愛媛県社会福祉士会	山本 豪
14	新居浜市女性連合協議会	吉田 満利子

1 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

ア 介護予防ケアマネジメント

校区担当を決めた上で、日常生活圏域ごとにグループを作り、地域の協議の場や健康長寿地域拠点等に参加し、地域に密着したケアマネジメントの実現を図る

実績：ケアマネジメント 延べ件数（12月末）4,512件

（参考：R5 介護予防支援 延べ件数（12月末）11,180件）

イ 生活改善個別指導事業（短期集中訪問型サービスC）

「生活いきいき訪問」（1コース：13回 6か月程度）

生活改善が必要な要支援・事業対象者を対象に専門職（管理栄養士・保健師・看護師・作業療法士・歯科衛生士・健康長寿コーディネーター）が訪問指導等を行い、日常生活の自立を図ることで要介護状態になることを予防する

実績：終了11人（前年度からの継続4人、今年度7人）、指導中8人（1月末）

(2) 一般高齢者介護予防事業

ア 介護予防教室「元気もりもり教室」（1コース：13回×4圏域）

高齢者が自分らしく生き生きとした生活を続けられることを目指して、一般高齢者を対象に、地域包括支援センターが提供した標準化された介護予防複合的プログラム（身体・口腔・栄養等）を業務委託して実施

実績：

圏域	委託事業者	開催場所	評価会議	評価対象者 (要配慮)		教室実施 期間	参加 人数
				事前	事後※		
川西	東京ネバーランドえひめ	総合福祉センター	事前 6/27 事後 10/3	3人 (5人)	3人 (5人)	7/4～ 9/19	30人
川東	愛媛医療生活協同組合	垣生公民館	事前 7/27 事後 11/9	4人 (3人)	4人 (4人)	8/3～ 10/26	26人
上部西	新居浜医療福祉生活協同組合	中萩公民館	事前 8/28 事後 12/12	1人 (3人)	1人 (5人)	9/5～ 11/28	24人
上部東	ふたば会	船木公民館	事前 9/22 事後 1/10	2人 (3人)	2人 (8人)	9/27～ 12/20	20人

※ 参加者のリタイアや、教室中に状態の変化が見られたことから人数の変動あり

イ 介護予防訪問相談

要支援者等生活機能の低下が見られる高齢者の自宅を専門職が訪問し、日常生活を送るうえで支障となっている生活行為及び生活課題を明らかにし、環境評価やアドバイス等の個別支援を行う

実績：R4：15人 R5 20人（1月末）

## ウ 健康長寿地域拠点づくり事業

自宅から歩いて通える自治会館等を活用して、高齢期に低下しやすい運動機能の向上を目指した PPK 体操に取り組むなど住民が主体的に介護予防に取り組める環境づくりを行う

### 開設数

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R6 1 月末
拠点数 (累計)	5	26	54	80	94	98	99	106	108
登録者数 (累計)	103	518	1129	1593	1,924	1,802	1,641	1,737	1,753

R5 年度開設 2 拠点：6/23 清水、11/2 喜来

#### (ア) 周知啓発（新規参加者増員に向けた取組）

5/14 健康フェスタ in にいはま

8/28～9/1 市役所ロビー展

10/10～10/24 図書館ロビー展

11/30 PPK 体操体験会 in イオンモール新居浜  
市政だより 2 月号

#### (イ) パート 2PPK 体操

継続支援対象拠点 96 か所に配布済み

#### (ウ) 運動・生活機能評価

運動機能評価・基本チェックリスト・精神的健康・社会参加からなる評価を全拠点対象に実施中。105 拠点中 23 拠点分を分析済みで 21.5%がフレイルに該当。低栄養リスクがある者については、ハイリスク者支援を開始している。

#### (エ) 介護予防講座

継続支援対象拠点 96 か所に希望に応じて介護予防講座を実施。「拠点を継続するために」は 89.6%、「血压管理」は 92.7%の拠点が受講中。「血压管理」の講座受講時に当日の血压がⅡ度（160/100 mm Hg）以上の高血圧者については、ハイリスク者として支援を行っている。12 月末時点で 535 名中 93 名（17.4%）をフォロー中。

#### (オ) 消滅危機支援強化拠点

R3 年度より、参加者数の減少、高齢化、固定化といった課題が生じている拠点を抽出して支援中。R5 年度対象拠点：城主、中郷、馬淵、江口、篠場団地

## エ 地域リハビリテーション活動支援事業

リハビリテーション専門職を活用し、各種介護予防事業の取り組みを専門的な知見により強化を図る。

#### (ア) 市民体操指導士活動支援 42 人

研修会(6/21)参加 30 人

R5 年度は市民体操指導士 35 人が活動を希望しており、住民主体の介護予防の推進に向けて積極的活动中

#### (イ) 健康長寿地域拠点委託指導事業者研修

研修会(5/17・26) 14 事業者 37 人が参加

適正に体操指導や運動・生活機能評価できるように支援

講師：愛媛県リハビリテーション専門職協会（延8人）

(ウ) 在宅生活応援ブックの作成

高齢者が抱えている生活上の課題解決に向けてのガイドライン作成中  
実態把握のために介護支援専門員にも協力を依頼。R6年度発行予定。

## 2 包括的支援事業

### (1) 総合相談支援事業

ア ブランチ連絡会：毎月開催

個別事例から地域課題を抽出できるスキルを身に着けるため事例検討会を実施、その後、地域支援の強化のため、地域の会（二層協議体、見守り推進員連絡会等）におけるブランチ・包括の役割の明確化に向け協議中。ブランチの相談スキルの強化を目指す。

### (2) 権利擁護事業

ア 権利擁護係会：毎月開催

- ・消費生活センターからの情報提供
- ・社会福祉協議会権利擁護係との情報交換
- ・成年後見制度市長申し立てについて情報共有
- ・虐待ケースの確認

イ 包括への成年後見に関する相談件数（～1/31） 来所10件、電話7件、その他1件

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ア 地域ケア会議

(ア) 事例検討型 随時開催6例（～1/31）

(イ) ケアマネジメント支援型

3ヶ月1回定例実施 1回3事例 1月末現在 9事例検討済み

イ 地域ケア推進会議

地域課題「地域包括支援センターと民生委員・児童委員の連携が不十分」

民生委員対象講座（3/13・15 新任期・過去2年未受講者対象）実施予定

今後の方策

(ア) 民生委員と包括、ブランチの顔の見える関係を維持する。

- ・積極的に地域の会に参加

(イ) 民生委員に困った時には抱えこむのではなく、包括やブランチに相談できることを認識してもらう。

- ・民生新任研修会の継続：民生委員の改選時には新任を対象に包括の役割を伝える研修を実施（主担当：地域ケア推進会議担当）

- ・校区学習会の継続：二層協議体、地域の民生・見守りの会等で希望に応じて実施（担当：相談支援係校区担当、健康長寿コーディネーター、ブランチ）※周知は地域ケア推進会議担当が令和6年4月に実施する介護予防事業周知に合わせて実施。

(ウ) 包括・ブランチ側が、民生委員はボランティアであり、民生委員の負担が大きく成り手不足の現状があることも踏まえ、民生委員の負担・不安が少なく活動ができるような対応ができるよう、共通認識を持ち続ける。

- ・包括・ブランチ対象で民生委員についての学習会を3年に1回程度実施 次回はR6年度（講師：地域福祉課 民生委員担当）※調整は地域ケア推進会議担当

ウ 介護支援専門員資質向上

(ア) 介護支援専門員連絡協議会

- 研修会 (11/28) 講演「ケアマネジメントとL I F Eとの今後の展開」  
講師 日本介護支援専門員協会 副会長 七種 秀樹氏
- 総会 (6/16) 講演「看取り期のケアマネジメント」利用者、家族の変化に合わせたケアマネージャーの支援とは～家族の立場から～  
講師 sound office 音旅社 代表 畑 奉枝氏

(4) 認知症総合支援事業

ア 認知症初期集中支援事業 (支援対象者数)

令和4年度 新規2人、前年度から継続0人 (1月末時点)

令和5年度 新規1人、前年度から継続0人 (1月末時点)

イ 認知症サポーター養成講座

令和3年度 35か所開催 1,824人受講

令和4年度 38か所開催 2,227人受講

令和5年度 25か所開催 1,548人受講 (1月末時点)

ウ 地域ケア向上推進事業

(ア) オレンジカフェ：8か所 コロナ禍以降2か所が休止

(イ) 認知症ケアパス：R3年度に名称を「あんしんノート」に変更し配布中  
来年度の改定に向けて内容を検討中

(ウ) 認知症講演会：9/9開催 102人参加

内容：若年性認知症支援コーディネーターの講演  
コーディネーターとえひめ認知症希望大使の対談

(エ) 周知啓発：市政だより9月号への記事掲載、新居浜市行政広報番組「マイタウンにいほま」の放送、コミュニティFM番組「こんにちは市役所です」の放送

エ オレンジネットワーク

(ア) 配信状況 令和4年度 市内4件7回 市外32件40回

令和5年度 市内7件10回 市外29件33回 (1月末時点)

(イ) 見守り協力機関 1月末 173機関

(ウ) 見守り登録者 1月末 新規28人 累計105人

(エ) 警察との連絡会 毎月継続中

オ 地域SOSネットワーク

(ア) すみの見守り・SOSネットワーク

- ・協議会：毎月開催 (8月は休会)
- ・認知症 (一人歩き〈徘徊〉する方) の見守り協力体制の構築
- ・配布チラシの作成
- ・小規模搜索模擬訓練の実施 (7/16, 11/12)
- ・ふれあいサロン (オレンジカフェ)：毎月開催
- ・ふれあい劇団：寸劇の練習
- ・お話と寸劇による認知症の勉強会：1回 (浮島公民館)

- (イ) 泉川見守り・SOSネットワーク
  - ・協議会：毎月開催
  - ・認知症かるた：小・中学校、高校に配付  
全公民館にて貸出、地域の集まりで活用されている
  - ・認知症研修会：11/22 実施 講師：新居浜市消費生活センター田中氏、稲田氏「詐欺被害にあわないために」
  - ・搜索模擬訓練：8/6 星原市にて実施

## (5) 在宅医療・介護連携推進事業

- ア 在宅医療・介護連携推進協議会：1/24 開催
- イ 作業部会：R5 年度第 1 回 8/31 開催  
多職種間連携に向けた情報共有冊子を 1500 部作成、674 機関に配布予定  
(多職種：医師・歯科医師・薬剤師・リハ職・施設・介護支援専門員・訪問介護・訪問看護・地域包括支援センター)
- ウ エンディングノート（企業広告付き）：配布中 令和 6 年度分 1,900 冊を 274 機関に配布予定
- エ 健康フェスタ（住友別子病院主催のイベント）：5/14 開催  
住友別子病院緩和ケア認定看護師と協働し、「じぶんらしく、あなたらしく」のブースを設置 人生会議のパネル展示・エンディングノートの配布等
- オ 出前講座：「在宅でできる医療と介護について」3 回、「もしものときを考えよう」5 回（実施予定含む）、1/27 愛媛労災病院の市民公開講座にて「地域包括支援センターについて」講義
- カ 周知啓発：図書館ロビー展（R5. 11. 15～11. 24）、市役所ロビー展（R6. 1. 22～1. 26）  
7/25 イオンモールでの生活習慣病等の周知イベント、11/1 保健センターでのワークショップに参加（パネル展示、エンディングノート配布等）
- キ 往診・訪問診療に関する医療機関アンケートを実施

## (6) 生活支援体制整備事業

- ア 健康長寿コーディネーター活動
  - (ア) コーディネーター会：毎月 1 回
  - (イ) コーディネーター通信わくわく（年 4 回発行）
  - (ウ) 健康長寿地域拠点支援：元気もりもりシニアの交流会（11/21）  
～気づいてますか？地域の宝～ 拠点参加者 145 人
  - (エ) 川東圏域拠点交流会～ぴんぴんキラリ!!今年もワイワイガヤガヤやりましょ  
う～（2/7）拠点参加者 45 人
  - (オ) 「バスガイドブック」更新
  - (カ) 出前講座「社会資源の活用」（2 回）

### イ 第 2 層協議体等、地域の協議の場への参加状況

校区名	参加状況	
新居浜	既存の会	民生定例会 月 1 回、民生・見守り推進員合同連絡会 年 4 回
宮西	既存の会	民生・見守り合同会 年 3 回 民生定例会 月 1 回 見守り推進員連絡会 年 4 回
金子	第 2 層協議体	金子コア会（第 2 層協議体） 年 1～2 回 民生定例会 月 1 回 見守り推進員連絡会 月 1 回 民生・見守り合同会 年 1 回

金栄	第2層協議体	ドリームネット（2層協議体） 年1～2回 見守り推進員連絡会 月1回
高津	既存の会	社協理事会 月1回 民生定例会 月1回、見守り定例会 月1回
浮島	既存の会	浮島見守り・ケアネット合同会 年4回
惣開	既存の会	民生定例会 月1回、見守り推進員定例会 年4回
若宮	既存の会	見守り推進員連絡会 月1回 民生定例会 月1回
垣生	第2層協議体	第2層協議体 年6回
神郷	既存の会	民生定例会 月1回・見守り推進員連絡会 年4回
多喜浜	第2層協議体	コアメンバー会（年1回）＋ソルティネット（第2層協議体） 年6回
泉川	既存の会	泉川見守り SOS ネットワーク協議会 月1回 社協支部定例会 月1回
中萩	既存の会	見守り推進員連絡協議会 年4回 民生定例会 月1回
船木	既存の会	民生定例会 月1回 民生・見守り合同会 年4回 社協支部事業部会 月1回
大生院	既存の会	高齢者見守り会（民生・見守り情報共有の会） 年4回
角野	既存の会	すみの見守り SOS ネットワーク協議会 月1回
大島	第2層協議体	第2層協議体 年6回
別子山	第2層協議体	別子山ケアネットワーク推進協議会・第2層協議体 月1回

### 3 保健事業・介護予防一体的実施事業（愛媛県後期高齢者医療広域連合からの委託事業）

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、後期高齢者医療の保健事業を介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。KDB システム等を活用して地域の健康課題を分析・対象者を把握し、かかりつけ医等と連携して保健事業を行う。本市においては、健康政策課が事業を統括し、包括・国保課・保健センターの連携調整を図り、医療・介護双方の視点から事業を推進する。

#### (1) 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）

ア 低栄養・生活習慣病等の重症化予防の取組

低栄養防止 63 人 生活習慣病等の重症化予防 4 人（R6.1月末現在）

イ 健康状態不明者実態調査（モデル圏域：川東）

（健康状態不明者：KDB システムで健診・医療・介護のデータ把握できない者）

令和3年度末時点の健康状態不明者のうち、令和6年1月時点でも健康状態を把握できていない46人に対し個別訪問し実情を把握。

#### (2) 拠点等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）

ア フレイル予防の普及啓発 51 か所 538 人

イ 高齢者の質問票等を活用した健康状態の把握・健康相談 51 か所 536 人

1 一般会計

<歳入>

(単位 千円)

科目	内容	R5予算額	R6予算額	比較R6-R5
諸収入	介護予防プラン作成料	69,240	67,016	-2,224
諸収入	後期広域連合受託事業収入	6,000	4,859	-1,141
合 計		75,240	71,875	-3,365

<歳出>

(単位 千円)

事業	内容	R5予算額	R6予算額	比較R6-R5
指定介護予防支援事業	会計年度職員5名人件費17,086、委託料47,810	71,440	67,016	-4,424
保健事業・介護予防一体的実施事業	会計年度職員人件費4,329	3,789	4,859	1,070
合 計		75,229	71,875	-3,354

2 介護保険事業特別会計

<歳出>

(単位 千円)

事業	内容	R5予算額	R6予算額	比較R6-R5
介護予防・生活支援サービス事業		31,787	29,620	-2,167
介護予防ケアマネジメント費	会計年度職員2名人件費7,007、委託料18,375	28,416	25,957	-2,459
生活改善個別指導事業	会計年度職員1名人件費3,404	3,371	3,663	292
一般介護予防事業		33,515	29,474	-4,041
介護予防一般高齢者施策事業費	会計年度職員2名人件費7,463、委託料8,800	17,527	17,083	-444
シルバーボランティア推進事業費	ボランティア事業負担金	225	225	0
健康長寿地域拠点づくり事業費	事業者委託料6,180、大島自治会委託料2,218 消耗品1,159、交付金820	14,150	10,738	-3,412
地域リハビリテーション活動支援事業	報償費(研修会指導、ガイドブック作成)1,108	1,613	1,428	-185
包括的支援事業		107,217	116,640	9,423
地域包括支援センター管理事業費	会計年度職員16名人件費74,182、委託料14,829 使用料及び賃借料(パソコンリース料等)5,339	87,778	95,849	8,071
包括的継続的ケアマネジメント支援事業費	研修会開催費用238、地域ケア会議報償費336	632	611	-21
認知症総合支援事業	委託料896、報償費(講師謝礼等)237、旅費(研修等)278	1,994	1,841	-153
認知症高齢者地域支え合い事業補助金	「すみの見守りSOSネットワーク協議会」及び 「泉川見守りSOSネットワーク協議会」に対する補助金	494	492	-2
在宅医療・介護連携推進事業	委託料1,942(協力機関委託、サイト運用) 役務費(タブレット使用料)471	2,998	2,618	-380
生活支援体制整備事業	会計年度職員4名人件費13,549	13,321	15,229	1,908
任意事業		1,410	1,264	-146
認知症高齢者地域支え合い事業	委託料(認知症サポーター養成講座)870 需用費(啓発パンフレット)345	1,410	1,264	-146
合 計		173,929	176,998	3,069

地域支援事業

## 新居浜市健康づくり推進本部フレイルグループの取組について

## 1 健康づくり推進本部 運営目的

単独の課所室では解決することが困難な健康に関する課題の解決に向け、組織を横断して、効果的な施策を推進することにより、健康寿命の延伸を図り、市民の生活の質の維持向上と社会保障費負担の抑制につなげることを目的とする。

令和5年度においては、高血圧予防対策を重点的に進め、心疾患によるフレイルや要介護支援要介護状態の改善を図る。

## 2 フレイルグループ・チームを構成する課所室

グループ・チーム長：地域包括支援センター  
国保課・保健センター・健康政策課

## 3 フレイルグループの運営方針

- (1) 一体的実施における高血圧予防対策強化
- (2) 健康長寿地域拠点の復活と定着
- (3) 保健福祉 MasaS を活用したフレイル予防の充実

## 4 フレイルグループの目標と実績

評価項目	評価指標	目標値	実績	実施率	備考
フレイルの認知度	フレイル啓発 (回数・人数・パンフレット配布数)	136回 2985人 1500枚	127回 2453人 1931枚	93.4% 82.2% 128.7%	R6.1月末 現在 事業継続中
	拠点参加者のフレイル該当者割合 (R5年度は初年度のため調査のみ)		21.50%		事業継続中
拠点活動の充実	PPK体操の拠点数 参加人数 参加率	120 1800 5.8	108 1753 5.7	90.0% 97.4% 98.3%	参考) R5 5.6%
健康相談の充実	健康相談(回数・人数) うちMaaSの活用(回数・人数)	323回 588人 20回 100人	251回 416人 19回 168人	77.7% 70.7% 95.0% 168.0%	事業継続中
高血圧重症化予防対策	健康教育「高血圧重症化予防」 (回数・人数)	103回 1807人	73回 1322人	70.9% 73.2%	事業継続中
	75歳以上要介護2以上の割合 (データが揃う令和6年7月に評価)	20.2%			